

京都大学附属病院を受診された患者様並びに京都大学の研究に試料を提供いただいた皆様へ

本学では他の研究機関で行われる臨床研究のため、本学に保管されている試料、情報を提供しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料や診療情報等を研究目的に提供されることを希望されない場合は、下記の申し出先・問合せ先にご連絡ください。提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

1 研究課題名	機械学習を用いた腹膜透析継続可能期間予測モデルの開発
2 研究責任者の氏名と所属研究機関の名称	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 腎臓内科 副部長 石村拓也
3 研究期間	2025年9月12日から 2027年3月31日
4 共同研究機関等の名称と各施設の責任者の氏名	【既存試料・情報の提供のみを行う機関】 京都大学医学部附属病院腎臓内科・特定病院助教・杉岡清香
5 承認した倫理審査委員会と研究機関の長の許可	田附興風会医学研究所北野病院倫理審査委員会で承認され、同病院院長の許可を得ています。
6 研究の目的と意義	腹膜透析(Peritoneal dialysis, PD)は、血液透析と並ぶ末期腎不全患者に対する主要な腎代替療法の一つですが、本邦においてPDを選択している末期腎不全患者はおよそ3%と非常に低い水準にあります。その原因のひとつとして、繰り返し腹膜透析を行うことによって腹膜機能が想定よりも早期に劣化し継続が困難になることが挙げられます。しかし、現状では腹膜機能の評価はPD導入後にしか行うことができず、もともとの腹膜機能をPD導入前に調べることは困難です。本研究では、腹膜透析導入前の患者データ(血液・尿生化学的検査、放射線検査、生理検査等)を用いて機械学習技術を活用した予後予測モデルを構築し、個別化医療の実現と治療戦略の最適化に資する臨床支援ツールの開発を目的としています。
7 対象となる試料・情報の取得期間等	2001年4月1日から2025年7月31日に京都大学医学部附属病院にて腹膜透析を導入された患者様
8 試料・情報の提供予定日	2026年4月1日
9 研究の方法と提供する試料や情報の項目	血液・尿生化学的検査:総蛋白、アルブミン、血中尿素窒素、尿酸、クレアチニン、尿中蛋白、尿中クレアチニン、AST、ALT、T-bil、LDH、CRP、T-cho、HDL-cho、HbA1c、BNP、フェリチン、尿中NAG、白血球、ヘモグロビン、血小板、Na、K、Ca、P 放射線検査:心胸郭比 生理学的検査:心機能、ABI 患者基本情報:年齢、性別、BMI 診断・治療情報:腹膜透析実施期間、内服薬、血圧、腎病変の

	原疾患、腹膜炎の既往歴、腹膜透析処方、悪性腫瘍の既往
10 試料・情報の他研究機関への提供およびその提供方法について	提供する電子カルテの情報から、氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除しますので、患者様の個人情報が研究利用の段階で漏洩することはありません。検査データについても同様です。研究結果は学会や論文で発表の予定ですが、その際に患者様を特定できる個人情報は利用しません。
11 外国への提供の有無 (当該外国名、個人情報保護制度、受領者が講ずる個人情報保護に関する措置)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は、さらに情報も記載)
12 提供機関の長の氏名	京都大学医学部附属病院長 高折晃史
13 試料・情報の管理・提供責任者の氏名	京都大学医学部附属病院 腎臓内科 特定病院助教 杉岡清香
14 試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問合せ先	郵送先: 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院 腎臓内科 電話: 075-751-4286 Email: ymizu@kuhp.kyoto-u.ac.jp
15 備考・その他 (参照 URL 等)	https://kitano.bvits.com/rinri/publish_document.aspx?ID=1226